

「ホビーのまち静岡」に関するアンケート調査

1 調査目的

静岡市では、模型・プラモデルをはじめとする「ものづくり」が盛んな地域として「模型の世界首都静岡（ホビーのまち静岡）」の取組を進めています。この度、市民のみなさんのプラモデル等に対する現状の意識、考え方を把握し、静岡市の「プラモデル産業」をはじめとする、ものづくり産業に対するシビックプライドの確立及びプラモデルを活用したシティプロモーションをより一層推進していくため、市民アンケートモニター調査を実施しました。

2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住 150 人

3 回収件数

148 件（回収率 約 98.7%）

4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

5 調査期間

令和3年5月20日（木）～令和3年5月27日（木）

6 担当課

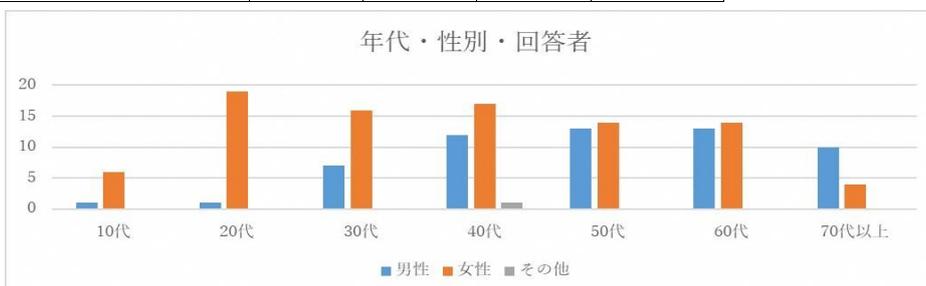
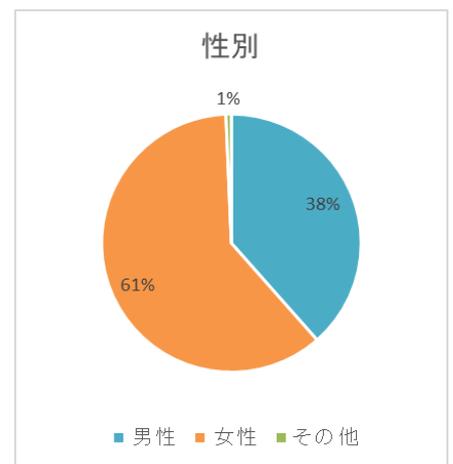
産業振興課

7 回答者の属性

（1）年代・性別

（人）

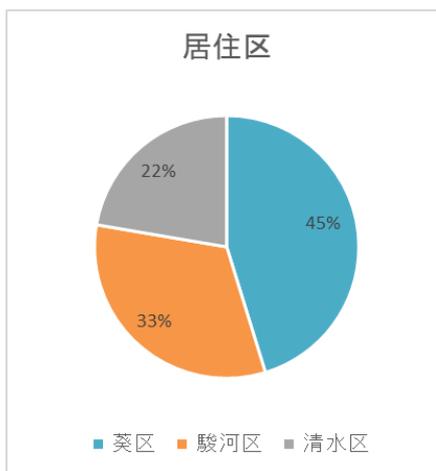
	男性	女性	その他	計
10代（18歳以上）	1	6	0	7
20代	1	19	0	20
30代	7	16	0	23
40代	12	17	1	30
50代	13	14	0	27
60代	13	14	0	27
70代以上	10	4	0	14
総計	57	90	1	148



(2) 居住区

(人)

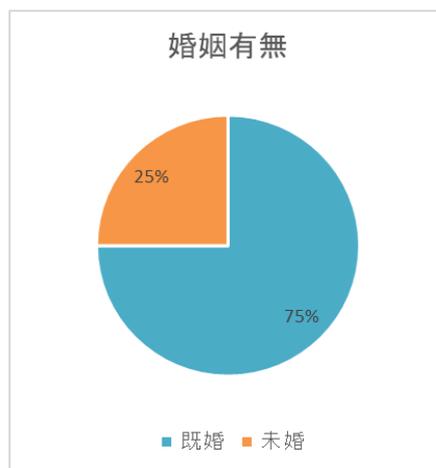
	計
葵区	67
駿河区	48
清水区	33
計	148



(3) 婚姻有無

(人)

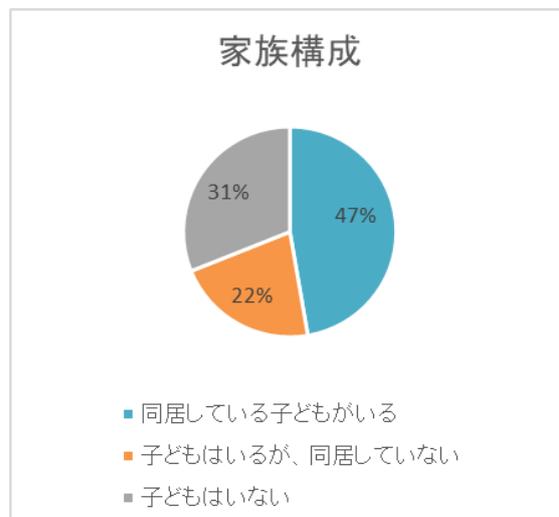
	計
既婚	111
未婚	37
計	148



(4) 家族構成

(人)

	計
同居している子どもがいる	70
子どもはいるが、同居していない	32
子どもはいない	46
計	148



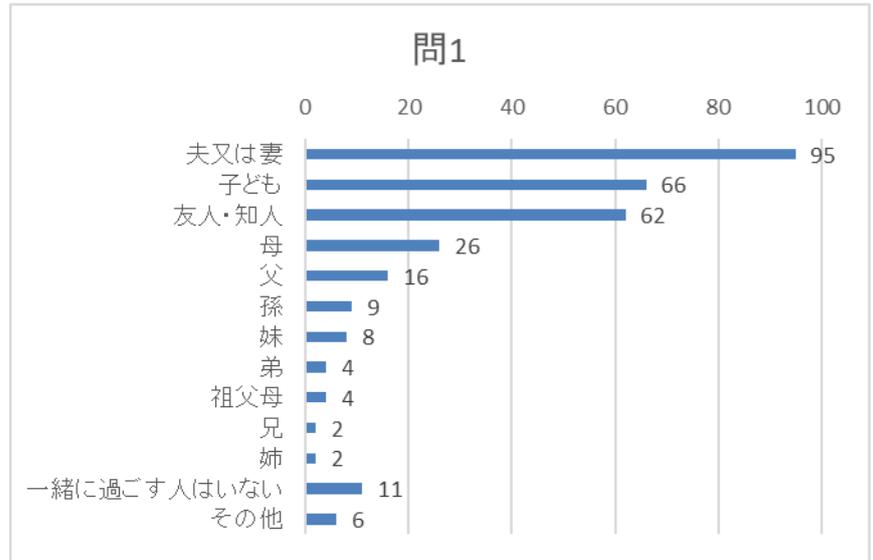
8 調査結果・概要

問1 あなたが、主な余暇時間を一緒に過ごす人について、該当するものをお答えください。

問1	人
夫又は妻	95
子ども	66
友人・知人	62
母	26
父	16
孫	9
妹	8
弟	4
祖父母	4
兄	2
姉	2
一緒に過ごす人はいない	11
その他	6

<その他>

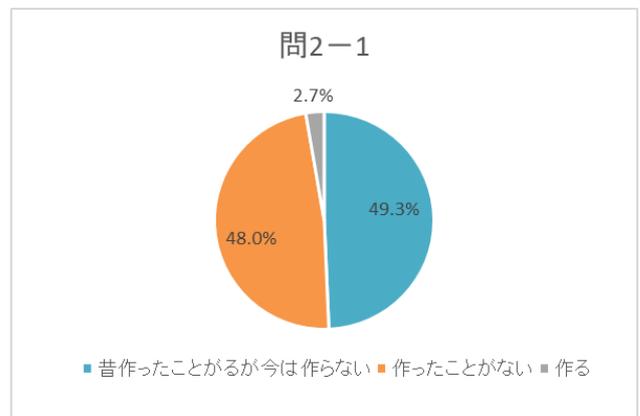
恋人、甥、叔母 など



問2-1 余暇時間にプラモデルや模型を作りますか。

「昔作ったことがあるが今は作らない」と回答した割合が49.3%と最も多く、次いで「作ったことがない」が48.0%、「作る」と回答した割合は2.7%となった。

問2-1	人
作る	4
昔作ったことがあるが今は作らない	73
作ったことがない	71
合計	148



問2-2 「問2-1」で「作る」と回答した方にお聞きします。プラモデルや模型を作る理由は何ですか。

- ・子供と一緒に作る事が多いので、経験として作っている。また、創造力や集中力をつけるために作っている。(50代男性)
- ・孫を楽しませるため。ボケ防止のため。(70代以上男性)
- ・完成した時の達成感を求めて作っている。(50代男性)
- ・機動戦士ガンダムのファンであるから。父や母もガンダムが好きであり、特に父はガンダム製作が趣味のため、幼い頃から馴染み深い存在であるから。(20代女性)

問2-3 「問2-1」で「昔作ったことがあるが今は作らない」と回答した方にお聞きします。

プラモデルを作らなくなった理由は何ですか。

- 作り始めると完璧に仕上げたいため、塗装まですると費用がかかる。また、作業場所も、汚れや換気を考慮すると自宅ではなかなか出来ない。(40代男性)
- 小学生の頃はプラモデルを作ること、完成したプラモデルで遊ぶことが大好きだったが、中学生になり、野球、ローラースケート、キャンプ等のアウトドアスポーツに夢中になったため。(60代男性)
- 子どもの頃作ったが、大人になり時間がなくなった。(50代男性)
- 特別作りたいものがない。また、作った後にどうしたらいいのかわかり、作らなくなった。(50代女性)
- プラモデルに触る機会が極端に減ったため。(30代男性)
- 組み立てまでは好きでやっていたが、その後のプラモデルに貼るシールが上手く出来ず、完成に納得していなかった。また、年齢を重ねて他の遊びに移行した。(30代女性)
- 兄と一緒に作っていたが、兄が作らなくなった。(10代女性)
- 作った達成感を味わえたり、細かな作業に集中する喜びがあったが、今は、プラモデル作りよりも他の趣味などに興味が向いているから。さらに、年齢とともに、細かな作業に対して困難を覚えてきたから。(70代女性)
- 小さな子がいるため、部品等が誤飲に繋がる可能性があるため。(20代女性)
- 塗料やシンナーなどの有機溶剤が家族に不評なため。(40代男性)

問2-4 「問2-1」で「作る」又は「昔作ったことがあるが今は作らない」と回答した方にお聞きします。プラモデルを作るようになったきっかけは何ですか。

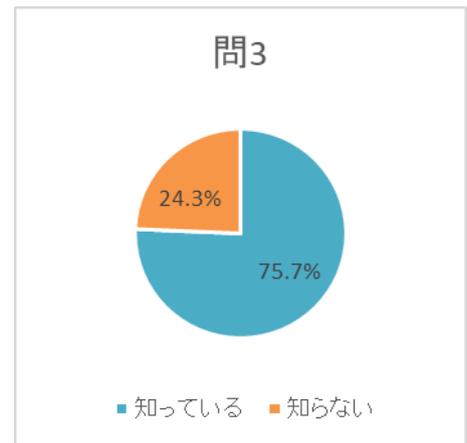
- 友達の影響(40代女性)
- テレビアニメの影響が大きい。(30代男性)
- 子どもの頃、周りがやっていたから。(50代男性)
- 子どもが作りたいと言ったから。(50代女性)
- 五重の塔の模型を見たときから。(70代男性)
- 小学生の頃、兄が作成していて影響を受けた。数年前に流通センター祭りに行った際に、若い頃に乘っていたオートバイの模型が販売しており購入し、その後数台作成した。また、ガンダムが東静岡駅前に設置され、見に行った際に購入して作成した。(60代男性)
- 子どもにものづくりの楽しさを伝えたいので、レゴやミニ四駆を作り始めた。(50代男性)
- 兄が作っていたから。(30代女性)
- テレビや映画を見て、飛行機や戦車、ヒーローのロボットを身近に再現したかったから。(60代男性)
- 最初(40年近く前)のきっかけはガンダムが好きだったから。プラモデル屋さんが近くにあり目にする機会が多かった。数年前また作る時期があったが、その時の再開のきっかけは、子どもがガンプラに興味を示したので、一緒に楽しめる趣味として。(50代女性)
- 少年時代にホビーショーでゼロセンのプラモデルを父親に買ってもらって、一緒に作ったのがきっかけ。(30代男性)
- 知り合いにお土産としてもらったため。(10代女性)
- 自分の好きなものがプラモデルで発売されていたから。(50代男性)
- 親からのプレゼント。(20代女性)
- 戦闘機や戦車が好きだったから。(60代男性)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が増えたから。(50代男性)

- 模型の街に住んでいるのにも関わらず、自分もプラモデルを作らないなんて勿体無い…！と思ったのがきっかけ。(20代女性)
- 近所にプラモデル屋さんがあり、よく目にしていたので、自然に興味を持つようになった。(70代男性)

問3 静岡市はプラモデル産業が集積しており、プラモデル（プラスチックモデルキット）の出荷額が、全国1位（静岡市シェア約8割）であることを知っていますか。

静岡市はプラモデル産業が集積しており、プラモデル（プラスチックモデルキット）の出荷額が、全国1位（静岡市シェア約8割）であることを「知っている」と回答した割合は75.7%であった。

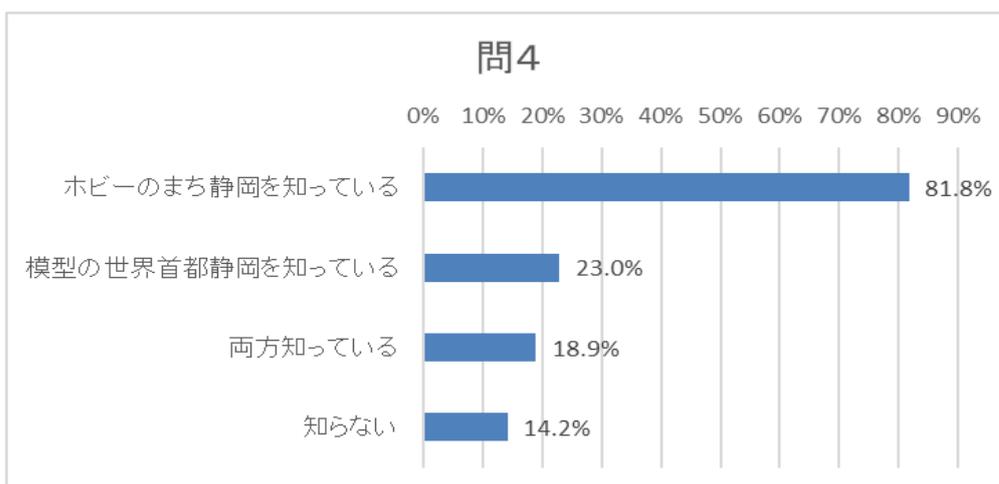
問3	知っている	知らない	合計(人)
	112	36	148



問4 「問3」の事実等から、静岡市が「模型の世界首都静岡」、「ホビーのまち静岡」と呼ばれていることを知っていますか。

「ホビーのまち静岡」を「知っている」と回答した割合は、81.8%、「模型の世界首都静岡」を「知っている」と回答した割合は23.0%、「両方知っている」と回答した割合は18.9%であった。

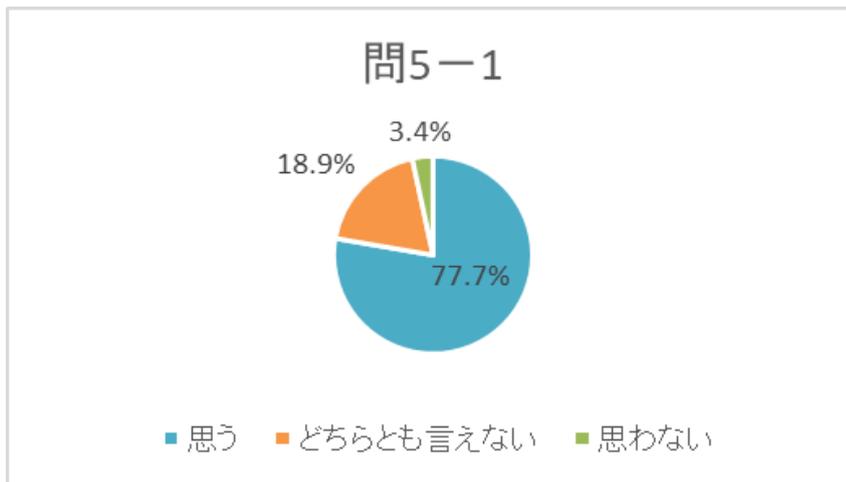
問4	人
ホビーのまち静岡を知っている	121
模型の世界首都静岡を知っている	34
両方知っている	28



問5-1 「問3」の事実（統計）を知り、あなたは、静岡市民として誇りに思いますか。

「プラモデルの出荷額が全国1位」の事実（統計）を知り、「静岡市民として誇りに思う」と回答した割合は77.7%であった。18.9%は「どちらとも言えない」、3.4%は「思わない」と回答した。

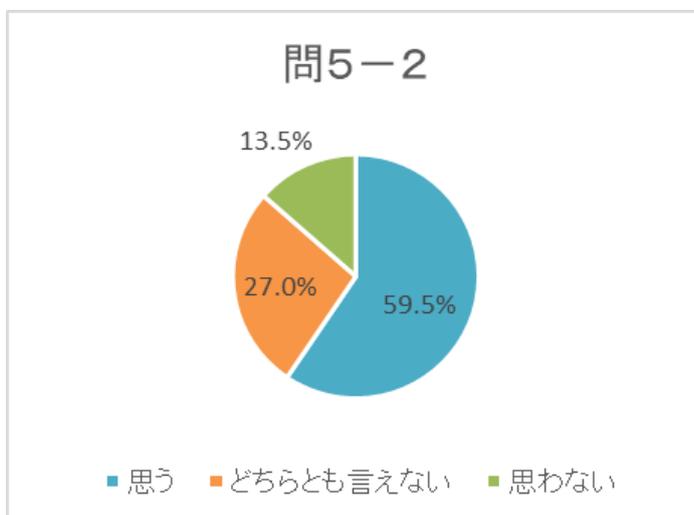
問5-1	人
思う	115
どちらとも言えない	28
思わない	5



問5-2 「問3」の事実（統計）を知り、あなたは、誰かに伝えたいと思いますか。

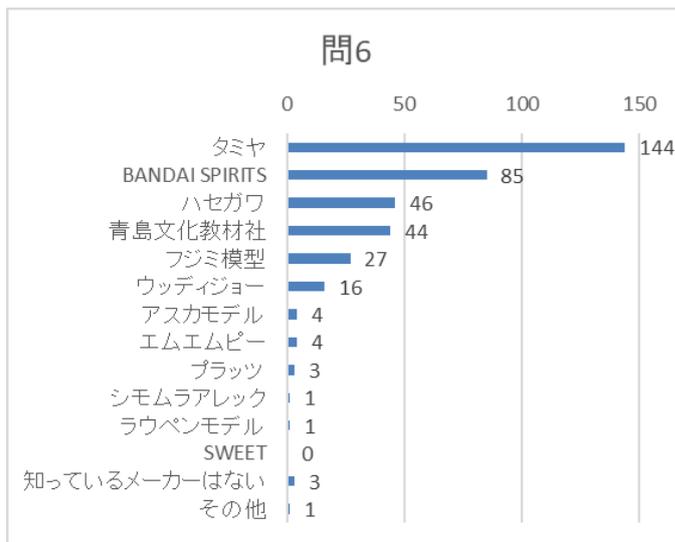
「プラモデルの出荷額が全国1位」の事実（統計）を知り、「誰かに伝えたい」と回答した割合は59.5%であった。27.0%は「どちらとも言えない」、13.5%は「思わない」と回答した。

問5-2	人
思う	88
どちらとも言えない	40
思わない	20
合計	148



問6 次の模型・プラモデル関連メーカーで知っているメーカーを選択してください。

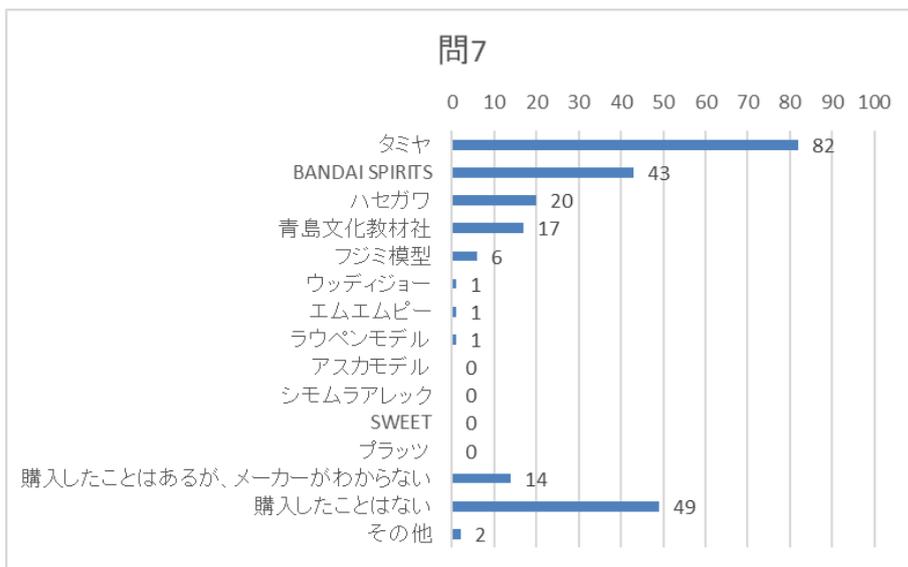
問6	人
タミヤ	144
BANDAI SPIRITS	85
ハセガワ	46
青島文化教材社	44
フジミ模型	27
ウッディジョー	16
アスカモデル	4
エムエムピー	4
プラッツ	3
シモムラアレック	1
ラウペンモデル	1
SWEET	0
知っているメーカーはない	3
その他	1



<その他の回答> 関水金属、TOMIX、グリーンマックス

問7 次の模型・プラモデル関連メーカーで、商品の購入経験があるメーカーを選択してください。

問7	人
タミヤ	82
BANDAI SPIRITS	43
ハセガワ	20
青島文化教材社	17
フジミ模型	6
ウッディジョー	1
エムエムピー	1
ラウペンモデル	1
アスカモデル	0
シモムラアレック	0
SWEET	0
プラッツ	0
購入したことはあるが、メーカーがわからない	14
購入したことはない	49
その他	2

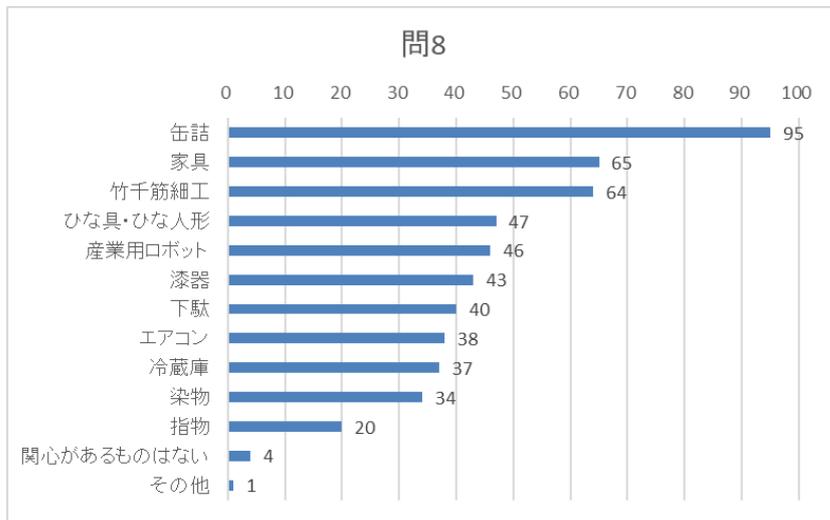


<その他の回答> 関水金属、TOMIX、グリーンマックス

問8 静岡市は、模型・プラモデル以外にも、缶詰、伝統工芸品、家具、ひな具・ひな人形など、地場産業として「ものづくり」が盛んです。下記から、関心のあるものを選択してください。

模型・プラモデル以外で関心のある本市のものづくり産業としては、「缶詰」が最も多く、95人であり、次いで、「家具」が65人、「竹千筋細工」が64人となった。

問8	人
缶詰	95
家具	65
竹千筋細工	64
ひな具・ひな人形	47
産業用ロボット	46
漆器	43
下駄	40
エアコン	38
冷蔵庫	37
染物	34
指物	20
関心があるものはない	4
その他	1

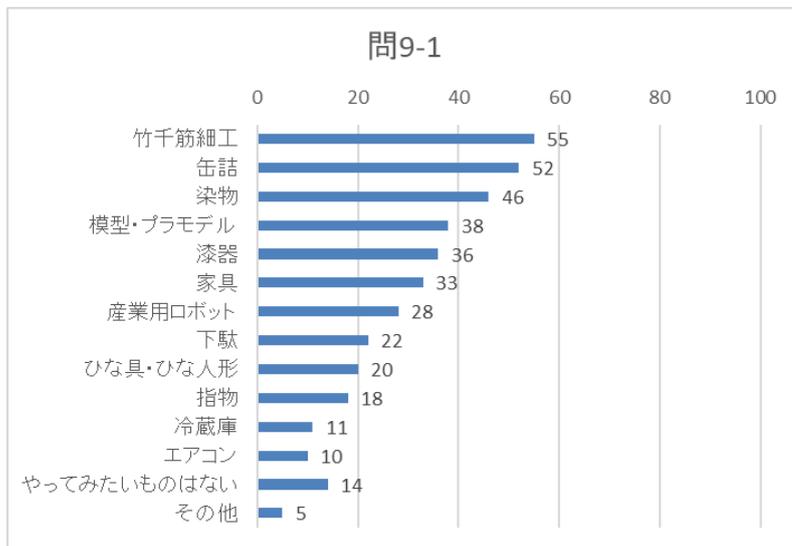


<その他の回答> 挽物

問9-1 下記の中から、学習や体験をしてみたい本市の「ものづくり」産業を選択してください。

学習や体験をしてみたい本市のものづくり産業としては、「竹千筋細工」が最も多く 55人であり、次いで、「缶詰」が52人、「染物」が46人となった。「模型・プラモデル」は38人であった。

問9-1	人
竹千筋細工	55
缶詰	52
染物	46
模型・プラモデル	38
漆器	36
家具	33
産業用ロボット	28
下駄	22
ひな具・ひな人形	20
指物	18
冷蔵庫	11
エアコン	10
やってみたくないものはない	14
その他	5



<その他の回答> 陶芸、ハーバリウム、挽物、わっぱ、日本酒、お茶摘み茶もみ

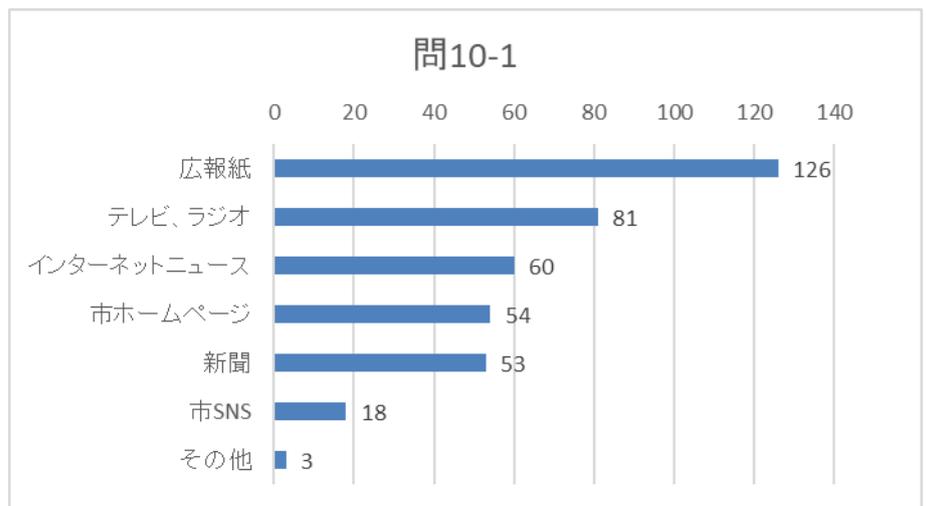
問9-2 「問9-1」で学習や体験をしてみたいものがある方にお聞きします。具体的に、どのような学習や体験をしてみたいと思いますか。

- ・職人さんの話を聞いたり、実際に竹千筋細工のかごなどを作ってみたい。また、産業用ロボットのことは知らないで、工場見学だけでなく実際に使われている様子を、動画でもいいので見てみたい。(60代女性)
- ・工場見学や実際に作る事。(50代男性)

- 設計開発工程の見学。
- 開発会議の公聴、可能なら参加。販売、体験のイベントの参加、補助。プラモデルは写真撮影会。
(30代男性)
- 生活の質が上がるような、実用性のある伝統工芸品が作れる体験。(20代女性)
- 缶詰工場の見学。(50代女性)
- オリジナルのひな人形が作りたい。本当のひな人形はあるので、飾り用として子どもの髪の毛や手形、名前を入れるなど、世界に1つだけのひな人形を作ってみたい。本気の家電作り体験が出来るところはないので、冷蔵庫を作ってみたい。(30代女性)
- 漆器や染物は伝統的なものだと思うので、どのような形で作られたり、染めたりしていくのかを実際に見てみたい。例えば、コースターや、ハンカチなど、使いやすい日常の物を作る体験ができればいい。
(40代女性)
- 子供と一緒に体験できるプログラム。(20代女性)
- 精巧な家具を作る匠の技を見たい。(70代以上男性)
- 近くの生涯学習センターで数日間の体験教室が開催され、日程が合えば参加したい。(60代男性)
- オリジナル缶詰作り。(40代女性)
- 歴史について学んだり、実際にものづくりに挑戦してみたい。(10代女性)

問10-1 あなたは、普段、市政情報を得るときに、どのような媒体を利用していますか。

問10-1	人
広報紙	126
テレビ、ラジオ	81
インターネットニュース	60
市ホームページ	54
新聞	53
市SNS	18
その他	3



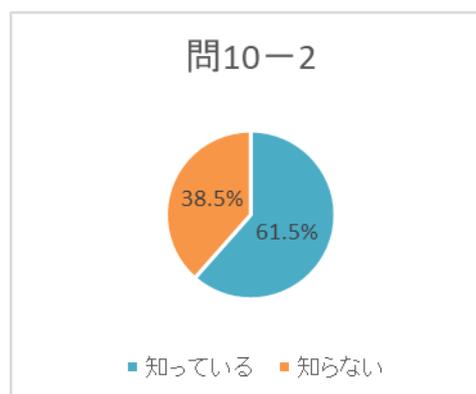
<その他の回答>

- 市施設で配架されている案内
- 市以外のSNS
- 市議会傍聴

問10-2 あなたは、市内3箇所に「プラモニュメント」が設置された事を知っていますか。

市内3箇所に「プラモニュメント」が設置されたことを「知っている」と回答した割合は61.5%、「知らない」と回答した割合は38.5%であった。

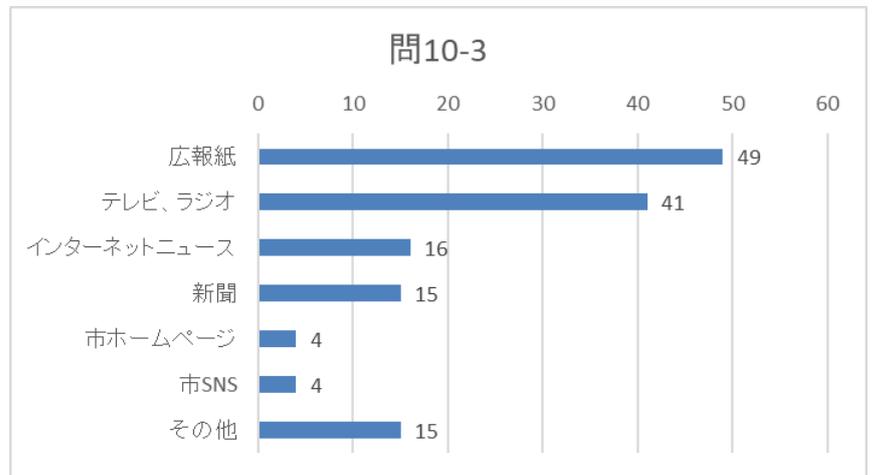
問10-2	人
知っている	91
知らない	57
合計	148



問 10-3 「問 10-2」で「知っている」と答えた方にお聞きします。プラモニュメントの情報をどのような媒体で知りましたか。

プラモニュメントの情報を知った媒体として、「広報紙」が49人と最も多く、次いで、「テレビ、ラジオ」が41人、「インターネットニュース」が16人となった。

問10-1	人
広報紙	49
テレビ、ラジオ	41
インターネットニュース	16
新聞	15
市ホームページ	4
市SNS	4
その他	15



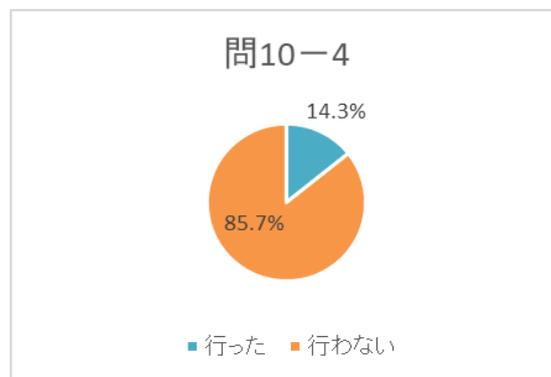
<その他の回答>

実際に見た
市以外の SNS

問 10-4 「問 10-2」で「知っている」と回答した方にお聞きします。「プラモニュメント」の写真撮影（又は SNS 投稿）を行いましたか。

プラモニュメントが設置されたことを知っていると回答した方のうち、「プラモニュメント」の写真撮影又は SNS 投稿を行った割合は 14.3%であった。

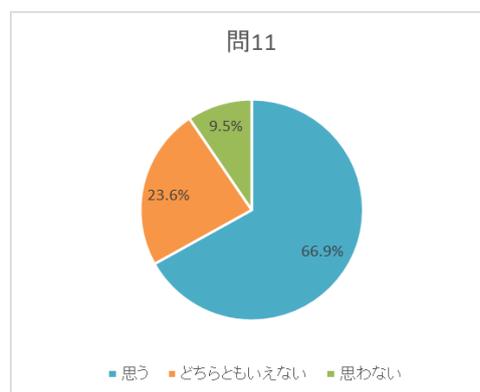
問10-4	人
行った	13
行わない	78
合計	91



問 11 あなたは、街中や観光地の店舗の看板等に「プラモニュメント」が設置・活用されていたら、「プラモデルのまち」の PR に有効だと思いますか。

街中や観光地の店舗の看板等に「プラモニュメント」が設置・活用されていたら、「プラモデルのまち」の PR に有効だと思うと回答した割合は 66.9%であった。

問11	人
思う	99
どちらともいえない	35
思わない	14
合計	148



問 12 「こんなプラモニュメントがあったら良い」と思うものがありましたら、ご記入ください。

- ・認知度の高いアニメ作品をモチーフにしたもの。(40代男性)
- ・公園などで遊べる、プラモニュメントのような迷路やジャングルジム。(30代女性)
- ・時計、案内看板。(20代女性)
- ・バス停の上部などに可愛くプラモデル(型抜き)シリーズをデザインした時刻表を設置する。県外からの観光客にも目につくようなデザインにする。(40代女性)
- ・駅ホームの掲示板やベンチ。信号機。電柱。ATM。学校の門や看板など。(30代男性)
- ・各駅やバイパス、高速道路の出入口等、県内外の方が目にしそうな所にモニュメントがあれば、パッと見て分かりやすく、印象に残ると思う。(40代女性)
- ・昔発売して、売れたり、人気があった模型の実寸大サイズのモニュメント。車や戦闘機、ガンダムの顔や一部のパーツ(足など)の実寸大。設置されていたら見に行きたい。(30代女性)
- ・ちびまる子ちゃんとコラボなど。(40代女性)
- ・市販されているものと同じデザインで製作した物を組み立て、何が完成するのかを完成品と見比べて当てる、クイズ形式のもの。(50代男性)
- ・街灯の1部がプラモニュメントだったら面白い。(20代女性)
- ・市内に点々とあるベンチやバス停をプラモニュメント化することで、市民にとっては何気ない日々の生活が少し潤ったり、来静する人たちに「ホビーのまち静岡」をアピールできたりするのではないか。(40代男性)
- ・富士山とコラボして写真を撮れる。(40代女性)
- ・新幹線や車の形のモニュメントがあったら、子どもが喜んでいいと思う。子どもがプラモニュメントに近づけば親も一緒に見るため、多くの人に見てもらえると思う。(20代女性)
- ・地元の各プラモデルメーカーごと、独自の特徴を前面に押し出した「模型好きが喜ぶ」プラモニュメントがほしい。そういう特徴的なものがあれば、きっと日本全国の模型好きが写真を撮りに訪れます。(50代男性)
- ・サッカーの町として、エスパルスのオレンジモニュメント(ボールやユニフォーム)。(60代男性)

問 13 「ホビーのまち静岡(模型の世界首都静岡)」の取組について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

- ・コロナ禍の宅内時間の増加はホビー消費増加に繋がる絶好の機会であるため、全国発信及び通販を積極的に行ってほしい。(40代男性)
- ・コロナが収束したら、簡単な作品作りを体験できる場や機会を設定し、他県や外国の方にも体験していただきたい。(60代女性)
- ・もっと積極的に発信して欲しい。発信力が物足りない。(70代以上男性)
- ・静岡＝ホビーのまちという認識があまりない。趣味は人それぞれで、模型＝趣味というのは、無理がある気がする。それならば「模型のまち」の方が分かりやすい。「模型の世界首都静岡」は長すぎるし、色々欲張り過ぎ。覚えられず浸透しにくい。(30代女性)
- ・子どもから大人までを巻き込んだイベント。地域ごとの伝承をプラモデル化する。(70代以上男性)
- ・マニアの方々だけでなく、一般の人でも簡単に「作りたく・飾りたくなる」ようなプラモデルを考えてほしい。(50代男性)
- ・実際に見たのは市役所のモニュメントですが、とても良いと思う。ただ、当たり前のように色々なところにあるのはうるさい気がする。(50代女性)

- 観光客が静岡を訪れた時に、身近な場所でプラモデルに出会う場所がない。駅ビルや北口地下広場などに売店があればよいと思う。企業が合同または月替りで参加出来たら面白いと思う。(70代以上男性)
- ホビショーは、コロナが落ち着いたら大々的にやってほしい。(40代女性)
- 模型は小学生以上の男性の物というイメージがあったが、プラモニュメントは老若男女が楽しんで良いと思う。(50代女性)
- プラモデルの出荷額が一位ということを知らなかった。「ホビーのまち」という言葉は聞いても理解していなかった。もっと宣伝しても良いと思う。(60代女性)
- 観光地(「ドリームプラザ」「富士山と三保の松原」「日本平夢テラス」「駿府城と浅間神社」など)を模型化したようなものがあれば楽しい。(60代男性)
- 日本国内に限らず、幼児教育や小学校、中学校の教材として使用されるようになったら良いと思う。幼児が取り扱うには少し難しい。また、手先を使う事は脳の活性化に良いと聞くので、小さいお子さんがレゴを楽しむように、高齢者が手先を使ったプラモデル遊びを楽しめるような商品が開発されたら良い。(40代女性)
- プラモデルに興味を持っているのは男性(男の子)が比較的多いと感じる。そのため、女性(女の子)でも可愛いと興味をもってもらえるものをプラモデルと合わせたら、より多くの人に興味関心を持ってもらえると思う。(20代女性)
- 日常の中で模型やプラモデルに触れることがなく、広報紙などでしか目にする機会もないので、今後のPRに期待する。(30代女性)
- プラモデル・模型自体はプラスイメージだが、昨今はプラスチックがマイナスイメージ。強度のためにプラスチックは必要不可欠ではあるが、SDGsの取り組みをメーカーは考えているのだろうか。
- 個人的には日本のものづくりを支えてきたのは、アトムやガンダムの世代だと思っている。将来の日本のものづくりのために、今ホビーの強化が必要だと思う。頑張してほしい。(60代男性)
- 大人から幼児まで楽しめる「ホビー」を企業と共に考え、デザインして行って欲しい。幼児や老人でも楽しめるホビーを体験する場を設けて欲しい。(60代女性)
- 発信のツールとして、他企業とのコラボ(エスパルスなど)や、学校などの公共施設でのイベント開催、記念日に「その人だけのホビー作成」などをしてみたら面白い。(30代男性)
- プラモデルの展示など、市民が「作ってみたい」と思うきっかけが増えたらいいと思う。(50代女性)
- 小学生の授業でのプラモデル作りは、とても良いと感じる。小学生のクラブ活動にプラモデルクラブを設置してはどうか。(50代女性)
- プラモニュメントで宣伝するだけでなく、市民が率先して模型作りの楽しさを理解することが活性化に大切だと思う。模型作りの授業は良いと思う。模型のイベントを開催するのも良い。(50代女性)
- ただモニュメントを置くのではなく、どんな意味を込めて置いたかなどのキャプションがあると、もっと気にかけて見てくれる人が多くなるのではないか。(10代女性)
- 子どもが小学校で「静岡市は家康の駿府城を作るのに、全国から優秀な職人さんたちが集まってきたから、モノ作りが盛んなのだよ。銀座という名前も静岡からなのだよ。」と習ってきました。外へのアピールもちろんですが、市民の中で理解を深めて自慢に思えることも、根付く要素だと感じた。物作りは、コロナ禍でも制限されない楽しみのひとつだと思う。(40代女性)
- プラモデルに興味関心を持ってもらうため、通勤や通学で人通りの多いところに、個人のプラモデルを飾れるブースやケースを設置したらどうか。月額サービスでも面白そう。(40代男性)
- プラモニュメントの取り組みはとても良いと思っていた。あの取り組みは市外県外の人に「静岡市の街中にはこんなものがあるよ」と唯一伝えられるものではないか。呉服町や七間町など、もっと

街の中心街に設置を増やしてほしい。そして、中心街だけではなく、三保の松原など、郊外の名所旧跡にもプラモニュメントを置いて、お遍路 88 カ所巡りのように、人々がプラモニュメント巡りをするようなプロモーションをやってほしい。(40代男性)

- 生涯学習センターで、年齢に関係なくプラモデル作りを行い、それを暫く展示して置くのはどうか。絵画の展示会のように、プラモデル作りの同好会による展示会も興味を引くかもしれない。身近にある商業施設に展示してもらうのも良い。就労支援施設で、プラモデルの箱詰めなどの仕事が行われていると聞いたが、静岡ならではだと思ふ。そのような情報も、多くの方に知ってもらふと良い。「ホビーが、人をつくる・仲間をつくる・街をつくる」各企業が、市民への貢献度を高めることで、裾野は広がっていくかもしれない。(70代以上男性)
- プラモデルを扱う店が少ない。ホビーショーの時以外は情報が無い(60代女性)

◇所感◇

本市のプラモデル出荷額が全国 1 位であることの認知度、「この事実を誇りに思う人」、「誰かに伝えたいと思う人」の割合は比較的高く、多くの市民の皆さんが、プラモデル産業が本市にとって対外的に誇れる重要な産業であると認識していることが伺えます。

その一方で、過去にプラモデルを作ったことがあるものの、現在余暇としてプラモデルを作っている人の割合は少なく、ファンのすそ野の拡大に向けた取組を検討していく必要性があります。

また、本市では、「プラモデル」またはこれを核とした「ホビー」を、シティプロモーションに活用し、「模型の世界首都静岡」・「ホビーのまち静岡」として PR を行ってきましたが、「ホビーのまち静岡」の認知度は高いものの、「模型の世界首都静岡」の認知度は低く、市民の皆さんに定着していないことがわかりました。「模型の世界首都静岡」の定着化と、市民の皆さんにその一員であることの意識を持っていただくことが今後の課題です。

今回の市政アンケートモニター調査を参考として、プラモニュメントの活用をはじめとするシティプロモーションや、プラモデル産業等のものづくり産業に対するシビックプライドの確立に取り組んでいきます。